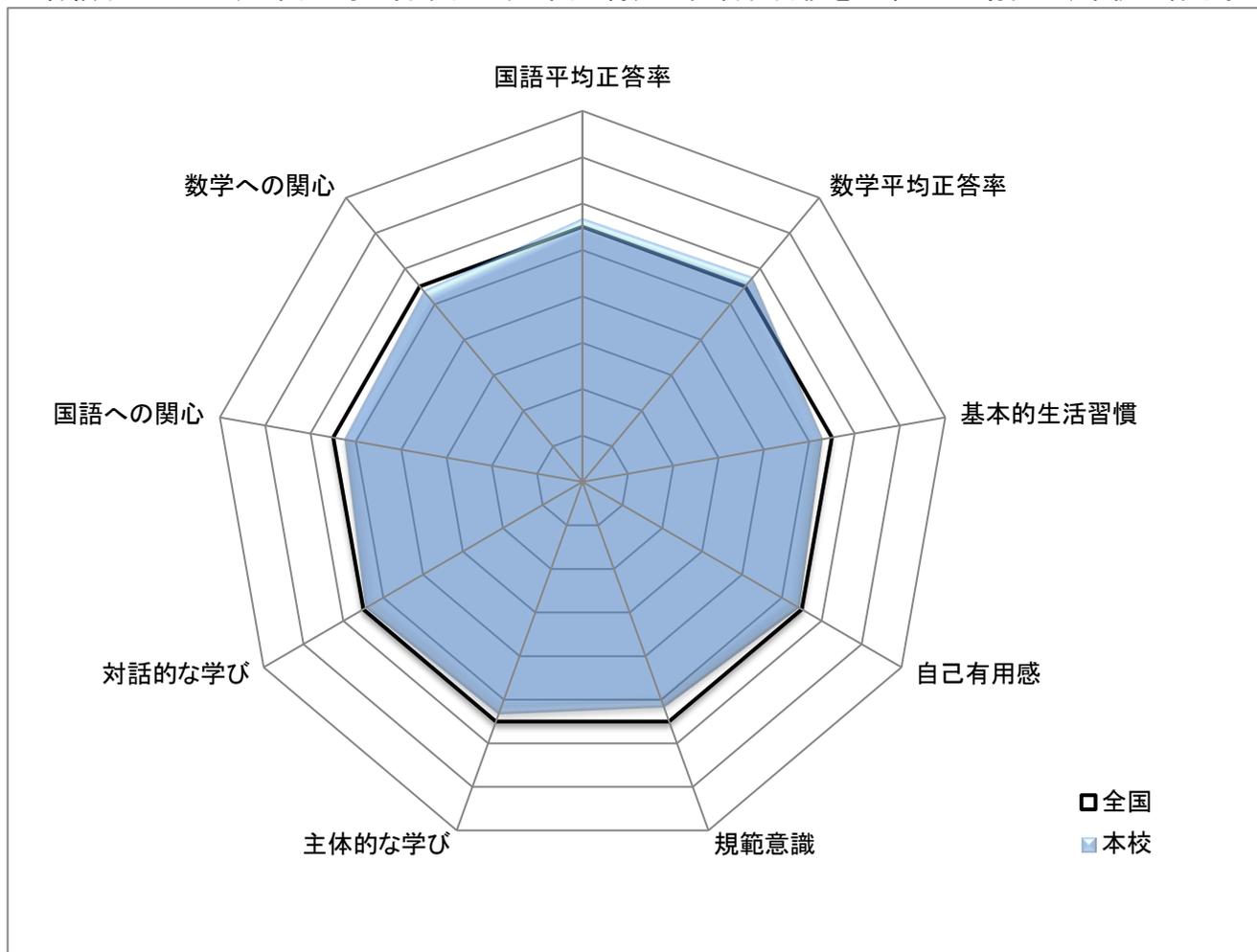


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

国語、数学ともに、全国平均正答率より上回ることができたことは成果である。それぞれ、国語はプラス1、9ポイント、数学は、プラス2、5ポイントであった。教科への興味関心が平均値に比べて若干低いことがうかがえる。主体的な学びや意欲的な学習態度に不足を感じるため、生徒の実態をつかみ授業改善を進めていく。

《授業改善のポイント》

生徒が課題意識をもって主体的に興味関心を高めるための授業改善をしていく。国語、数学ともに、教科に対する興味関心が全国平均に比べると低いために、対話的な授業を効果的に取り入れるとともに、授業と家庭学習がつながるように、学力の定着のための家庭学習の課題の出し方に工夫が必要である。

《チャートの特徴》

すべての項目について、全国の平均とほぼ同等であるが、国語、数学ともに、平均正答率は全国の平均正答率を上回っている。国語、数学それぞれの授業への関心であったり、生徒の主体的な学びについて、および基本的な生活習慣については、全国の平均を下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

健康的な食生活や休養および睡眠などの基本的な生活習慣を各家庭で見直し、規則正しい生活から、学校の授業を理解していけるよう家庭の指導の充実を働きかける。また、生徒の家庭学習の習慣づけの協力を促していく。